

このスポット・おすすめ!

ひとりでホットとゆるめる空間
あがりんて〜ら〜 with happy



作ることが大好きな作り手のスイーツ&ドリンクが勢ぞろいセレクトショップ&レンタルスペースとして評判のお店が、1月20日にカフェ営業をスタートしました。場所はサンエー具志川メインシティから約50メートル。天井が高く木のぬくもりに満ちた空間で、ゆったりとした自分時間を過ごせます。「スイーツもドリンクも、提供するスペースは他の雑貨や小物と同じです。私たちが作るのではなく、県内各地で「発掘」した作り手さんから仕入れていきます。皆さんに共通しているのは、味が確かなのはもちろんのこと、作るのが本当に大好きなことですね」とはオーナーの辺土名健さん・兼さんご夫妻。例えばコーヒールはお気に入りの焙煎屋さんを見つけて、自分たち好みの味にブレンド。他には毎週第1・3金曜日に入荷する天然酵母パンをはじめ、ヴィーガンケーキ、自家製ハイなどがレギュラー商品として置かれています。合わせる器はさすがセレクトショップとあって個性的かつおしゃれなものも多く、写真映えは必至です。

住所 / 沖縄市松本 880-2
電話 / 098-934-5125
時間 / 11:00~17:30
休み / 日・月・木曜
(第4日曜日は営業)
駐車 / あり
最新情報は Facebook、Instagram、HP で



読者

なぞなぞに 読者 答えて
プレゼント

このスポット・おすすめコーナーで紹介の『あがりんて〜ら〜 with happy』で使える



3名様

Q なぞなぞ
新しい車は新型。
古い車は何がた?
車がかくなること
どうなるかな?



2月号当選者 前号の答え(ガリ)

- ★中川誠一郎さん(読谷村在住)
- ★比嘉 翔太さん(那覇市在住)
- ★小淵 喜羽さん(読谷村在住)

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先
読谷村字伊良智237-1
ウインズ
『広報誌係』

①住所 ②氏名
③年齢 ④職業
⑤電話番号

⑥なぞなぞの答え
⑦ご意見
⑧感想

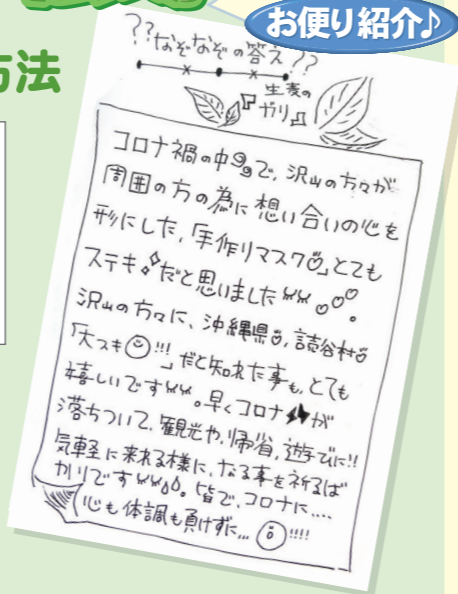
応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り

2021年3月20日消印有効
「当選者の発表は電話にてご連絡致します」

『Freshウインズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布しております。(ウインズ広報誌係)

お便り紹介!



Fresh ウインズ

人と人のつながりを大切に。池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌



今月の歳時記

- 3月1日(月)~21日(日) 第39回東村つつじ祭り
会場・開催地/東村村民の森つつじ園
- 3月4日(木) 第29回「ゆかる日 まさる日 さんしんの日」
会場・開催地/観覧なし。YouTube配信予定
- 3月6日(土)・7日(日) 第32回「ツール・ド・おきなわ2020」サイクリング大会
会場・開催地/沖縄本島
- 3月12日(金)~14日(日) 「第19回 沖縄市工芸フェア」
会場・開催地/沖縄市・コザ工芸館ふんどろ他

※各イベントは変更・中止となる場合があります。

例年だと県内各地で海開きの話題が聞こえてくる時期。内地では観測史上最も早く春一番が吹いたことがニュースになりましたが、初夏を告げるうりずんの風はいつ頃から吹き始めるでしょうか。3月の恒例イベント「ゆかる日 まさる日 さんしんの日」は動画配信される予定です。



Check

ウインズのHP・スタッフブログ



(株)池原建設 企画事業部ウインズ
〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良智 237-1
営業時間 / 9:00~18:00 (年末年始を除く)

住宅のメンテナンスや
補修等のご相談は、お気軽に
スタッフへお声掛け下さい!

☎0120-229-512 ウインズ 池原建設 検索



～スマイルビジョン～

Smile Vision!



音楽に注いだ若かりし頃の情熱が、家づくりとともに覚醒 「比嘉ピアノ教室」主宰の比嘉勇氣さんが追い続ける夢の形



「日常の中に音楽があれば心が潤い、暮らしが豊かになる」と話す比嘉さん。この日は「最も好きな曲の一つ」というショパン作曲の「舟歌」を演奏

ピアノを本格的に始めたのは18歳 ブランクを経て もう一度音楽の道へ

何かを始めるのに遅すぎることはない、きっかけは人それぞれ。「比嘉ピアノ教室」を主宰する比嘉勇氣さんがピアノを弾き始めたのは、受験勉強真っ盛りの高校3年生のときでした。作曲家モーツァルトの半生をフィク

読谷村長浜に2019年5月に開講した「比嘉ピアノ教室」。暮らしの中に音楽がある毎日」をテーマに、施主で講師の比嘉勇氣さんが自宅兼ピアノ教室のグランドデザインを描き、私たち池原建設が設計・施工のお手伝いをさせていただきました。施工のお手伝いをさせてくださいました。「生活ストレスを感じない理想的な環境。ピアノ指導者として、また一人の演奏家として、温めてきた夢をかなえたい」と話す比嘉さんに、現在までの音楽との関わりや思い入れについて、家づくりの経緯と合わせて話を聞きました。



2019年4月に完成した比嘉さんの新居。建物はもちろん敷地南側に広がる大きな芝庭も特徴です



ション混じりに描いた映画『アマデウス』を見て感銘を受け、希望進路を音楽大学に変更。2年間の浪人生活を経て、日本大学芸術学部へ進学しました。

「浪人中は寝食も忘れるほど、朝から晩まで練習の毎日。ピアノの先生から、最低3年間は必要」と言われたのを2年で突破したのだから、自分でもよく頑張ったなあと思います。」

在学中はピアノ漬けの生活に拍車がかかり、普段の授業期間はもちろん、夏休みなどで帰省中も日がな1日演奏し続けることが日常になっていました。しかし大学卒業に際し、誰もが一度は通るであろう「好きなことを仕事にすべきか否か」の決断に迷い、当時の比嘉さんは「否」の道を選択。27歳で帰郷後は公務員として忙しい日々を送り、いつしかピアノに触れる機会はなくなっていました。

音楽の道へ帰帰する契機となったのは、にわかには持ち上がった家づくり計画でした。ちょうどその頃、昔よく練習した譜面をふと手に取って、「もう弾けないだろうな」と恐る恐る鍵盤を叩いてみたところ、「予想に反し

て、当時と変わらないうくらい指が動いたんです」。情熱を傾けた学生時代の記憶が、一気によみがえり、「音楽の道に戻るなら今しかない」と退職・独立を決断。新居では将来ピアノ教室を開くことを視野に入れ、広々とした専用スペースを設けるプランを自ら構想しました。



こだわりの音楽スペースには、長年愛用しているグランドピアノをはじめさまざまな楽器が勢ぞろい

住宅紙にも取り上げられた こだわりのマイホーム

比嘉さんの新居は床面積約64坪の平屋の住まいです。敷地南側の芝庭に面して居住スペースが並び、駐車場のある北側にピアノ教室用の音楽スペースが置かれています。両スペースの間は分断せず、リビングや寝室から自由に行き来できる動線を確認。また音楽スペースの周囲には坪庭やデッキスペース

を配することで、防音材なしの防音空間を実現しました。その他さまざまなこだわりを詰め込んだ家づくりの様子は、昨年10月16日の琉球新報住宅紙「かふう」にも掲載されました。



琉球新報「かふう」表紙を飾ったリビング回りの一枚。坪庭や天井の擬木がデザインのアクセント

正式に家づくりを進めるにあたり、比嘉さんが私たちに依頼してくれたのは、奥さまが生まれ育った実家も、結婚後に住んでいたアパートも池原建設が手がけたもので、「池原建設さんにお願いですれば間違いなく分かっているから」と有り難い言葉。土地探しの段階から設計部の担当者や密に相談を重ね、気兼ねなく何でも言い合える信頼関係を築き、一つ一つの思いつきやアイデアを具体的なプランへと昇華させていきました。

指導者兼演奏家として 今、ここから再び夢を追う

自宅兼ピアノ教室を新築してからもうじき丸2年。「ああ



家づくりでは奥さまと2人でアイデアを出し合い、それぞれの思いをうまくまとめあげました

とはいえ、これからずっと暮らしていく場所ですから、まずは「自分たちの行動パターンを徹底的に見つめ直し、何をすることもストレスのない家を目指しました。例えば子どもたちが学校から帰ってきたときの振る舞い方を考えると、子ども室はLDKのどちら側に配置すべきか。仕事から疲れて帰宅したとき、ドアを開けて最初のスペースはどんなデザインだと心地いいか。照明のスイッチはどの位置にあると体の動きがスムーズか」等々、事細かにシミュレーションを繰り返したそうです。

しとけばよかった」と後悔している点は一つもなく、思い描いていた通りのストレスフリーな暮らしを送っています。

ピアノ教室はじっくりゆっくり運営中。現在の生徒層は5才から60代まで幅広く、一人一人の要望・目的に応じたレッスンを行っています。「私が指導しているのは練習のやり方。上手に弾けるようになればますますピアノが楽しくなって自宅でも練習するし、練習時間が増えれば当然上達スピードは向上しますから」と比嘉さんは話し、「一般的には、幼少期から音楽に慣れ親しんできた人がほとんどなので、なぜ楽器を扱えるようになったのかを忘れていくケースが多いんですね。でも私がピアノを弾き始めたのは高校生。常に頭で考えながら、何をどう練習すれば上達するのか、身をもって経験してきました。その点は講師としてのアドバンテージだと思っています。」

現在は指導者として「ピアノが日常にある素晴らしい」を伝えることに注力する一方で、演奏家・比嘉勇氣としての夢もひそかに温め続けています。「いつか大観衆の前でコンサートを開きたい」との思いを胸に、18歳から愛用しているグランドピアノに毎日向



将来の晴れ舞台を夢見て練習に励む比嘉さん。夢を追う姿は幾つになっても人の心を打ちます

かい、さらには「今はあらゆる音楽環境が整っている時代。インターネット配信にもチャレンジしたい」と興味の幅は広がっています。また音楽の道を志したきっかけが作曲家モーツァルトの映画だったように、ジャンルを問わず作曲にも精を出し、こちらは既に自身が所属する音楽バンドに幾つかの楽曲を提供中。CDのレコーディングまで行なっています。こだわりを詰め込んだ理想の住まいで、再び追い始めた夢のつぼみが徐々に開き始めています。

フレッシュウィンズ 休刊のお知らせ

この度、新型コロナウイルス感染症拡大により、取材活動に大きな影響と制限がでているため、池原建設広報誌「フレッシュウィンズ」は今号をもって、しばらく休刊とさせていただきます。また誌面を通してお会いできる日を楽しみにしています。